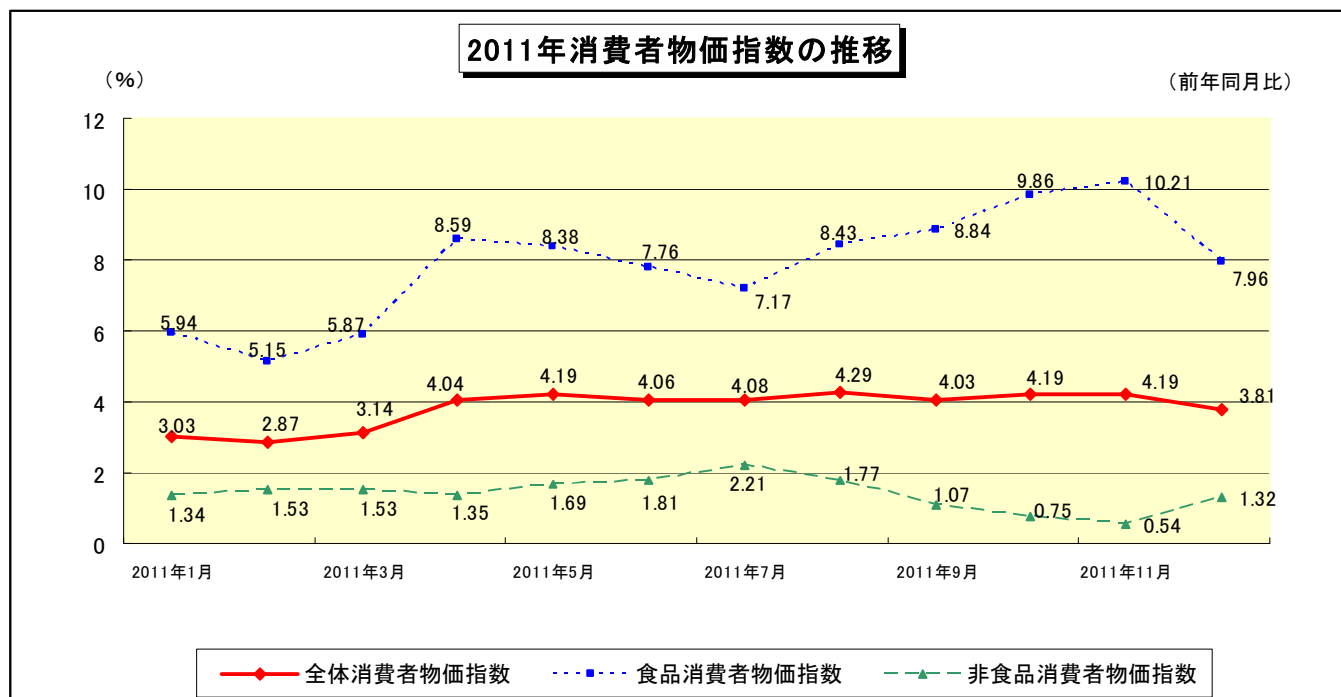


【バンコック駐在員事務所】

「2011年のタイ消費者物価指数」

- タイ商務省が発表した2011年通年の一般消費者物価指数（CPI、417品目、速報値）は前年比3.81%の上昇、前年の3.30%より上昇幅が拡大しました。昨年のタイ大洪水により10～11月に食品価格等を中心にインフレ圧力を押し上げたことが主要因として挙げられます。
- 食品消費者物価指数は前年比7.96%の大幅上昇、一方で非食品消費者物価指数は同1.32%の上昇となりました。
- 尚、生鮮食品とエネルギーを除く基本消費者物価指数（コアインフレ）上昇率は前年比2.36%となりました。
- タイ中央銀行の発表では、2012年上半期は大洪水の影響による民間部門の回復遅れに伴い、インフレ圧力は減じると見込むものの、2012年下半期には同部門の回復でインフレ圧力は増加に転じ、2012年通年の消費者物価指数上昇率は3.20%と予測しています。



《中央銀行のデータをもとにバンコック駐在員事務所が独自にグラフ作成》

【出所:タイ商務省・タイ中央銀行 HP、地元新聞記事等】

照会先: 法人ソリューション営業部 国際業務 (東京) 電話 03-6704-2723
(大阪) 電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。

* 禁無断転載